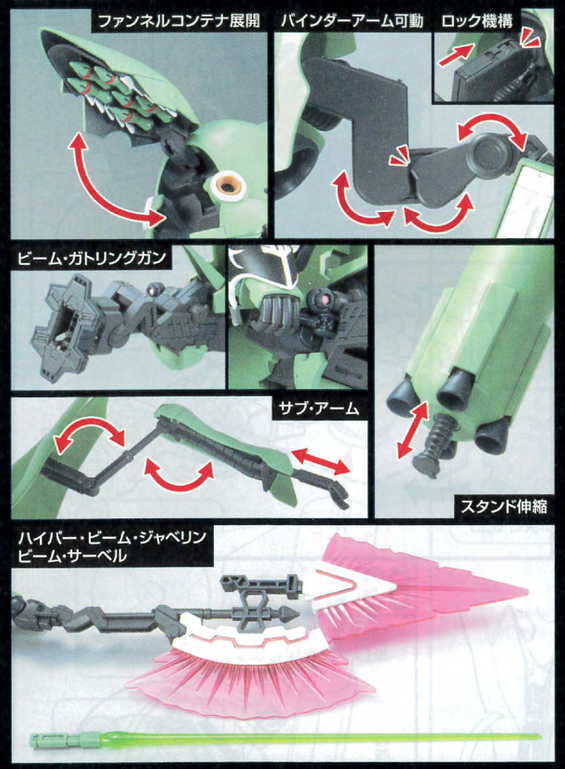
DETAIL ディテール



REAR VIEW リアビュー

ACTION アクション

※画像はバンダイプラモデルアクションベース1(別売り)を使用しています。(アクションベース2には、対応していません。)

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、右の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。
※ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。

●バインダー等: よもぎ色(100%)	●本体等: グリーン(40%) +機体内部色(30%) +グレー(30%)	●関節等: グレー(85%) +ブラック(10%) +ココアブラウン(5%)	●つま先等: ミディアムブルー(60%) +ブラック(20%) +コバルトブルー(20%)	
●肩部等: ホワイト(100%) +サンディイエロー(少量)	●パイプ等: イエロー(50%) +オレンジ(40%) +ニュートラルグレー(10%)	●ハイパー・ビーム・ジャベリン ホワイト部: ホワイト(100%) +ネービーブルー(少量)	●プロペラント・ブースター オレンジ部: クリームイエロー(40%) +オレンジ(30%) +ホワイト(30%)	
●袖等ブラック部: ブラック(100%)	●コックピット等: モンザレッド(100%)	●モノアイ: ホワイト(70%) +デイトナグリーン(30%)	●ハイパー・ビーム・ジャベリン レッド部: 下地にシルバー(100%) +クリアレッド(100%)	●ビーム・ガトリングガン センサー: ピンク(100%)

NZ-666 KSHATRIYA REPAIRED

NEO ZEON PROTOTYPE MOBILE SUIT FOR NEWTYPE

©創通・サンライズ

MODEL NUMBER : NZ-666
TOTAL HEIGHT : 22.3m
WEIGHT : 29.7t　TOTAL WEIGHT : 74.02t
MATERIAL : GUNDARIUM ALLOY
ARMAMENTS : BEAM SABER　BEAM GUN
ALTERED FUNNEL　MEGA PARTICLE CANNON
MACHINE CANNON
I-FIELD GENERATOR
BEAM GATLING GUN
HYPER BEAM JAVELIN

1/144 SCALE

HG UNIVERSALCENTURY

機動戦士ガンダムUC ユニコーン
MOBILE SUIT GUNDAM UNICORN

GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
バンダイホビーサイト▶www.bandai-hobby.net/
Fees accrued by your communication and connection to the internet are under customer's responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信費等はお客様のご負担となります。

BANDAI 2014 MADE IN JAPAN
0189488

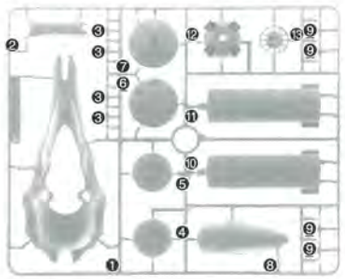
●画像の完成品は塗装してあります。

パーツリスト （×印は使用しないパーツです。）

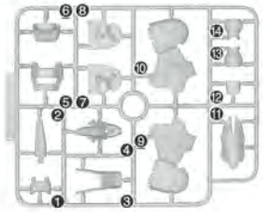
Aパーツ
（スチロール樹脂：PS）

Bパーツ
（スチロール樹脂：PS）

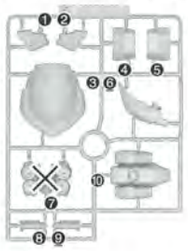
Cパーツ （×2）
（スチロール樹脂：PS）



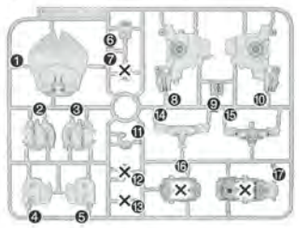
Dパーツ
（スチロール樹脂：PS）



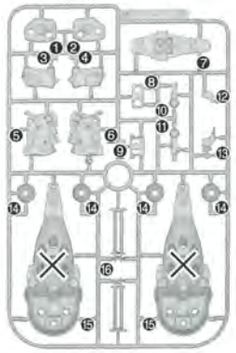
Eパーツ
（スチロール樹脂：PS）



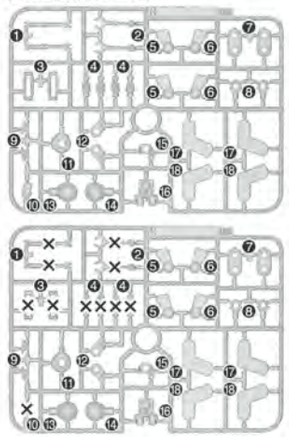
Fパーツ
（スチロール樹脂：PS）



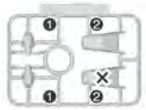
Gパーツ
（スチロール樹脂：PS）



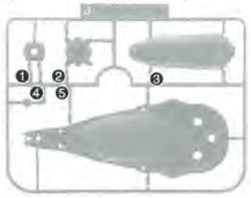
Hパーツ （×2）
（ABS樹脂：ABS）



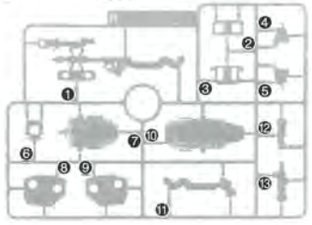
Iパーツ
（スチロール樹脂：PS）



Jパーツ （×2）
（スチロール樹脂：PS）

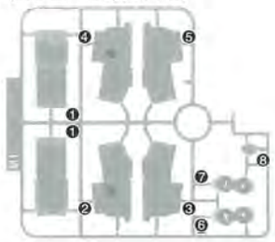


Kパーツ
（スチロール樹脂：PS）

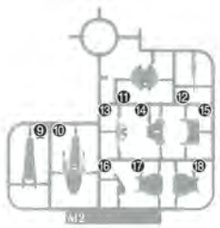


Lパーツ
（ABS樹脂：ABS）

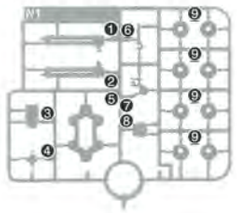
M1パーツ
（スチロール樹脂：PS）



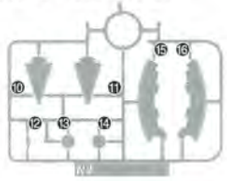
M2パーツ
（スチロール樹脂：PS）



N1パーツ
（スチロール樹脂：PS）



N2パーツ
（スチロール樹脂：PS）

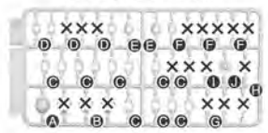


O1パーツ
（スチロール樹脂：PS）

O2パーツ
（スチロール樹脂：PS）

SB1パーツ
（スチロール樹脂：PS）

〈PC-116〉
（ポリエチレン：PE）



※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

●ホイルシール……1

⚠警告（けいこく）

保護者の方へ　必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

⚠注意（ちゅうい）

●縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。
●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。
●部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。
●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

《組み立てる時の注意》

●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
●部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
●塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
●ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

組み立て中に注意する箇所

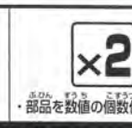
・シールの番号

・反対側に取り付けるパーツ

・両側に同じパーツを取り付ける

・向きに注意して取り付ける

・切り取るところ



・部品を数値の個数作ります

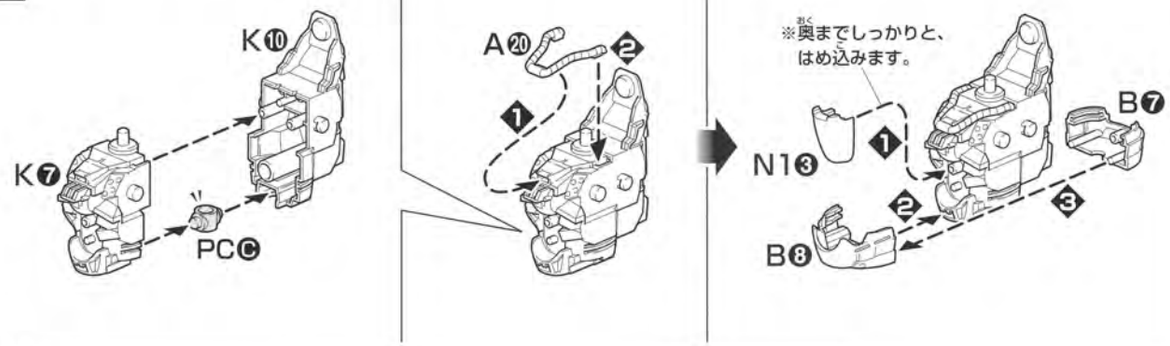
・先に組み立てます

・後に組み立てます

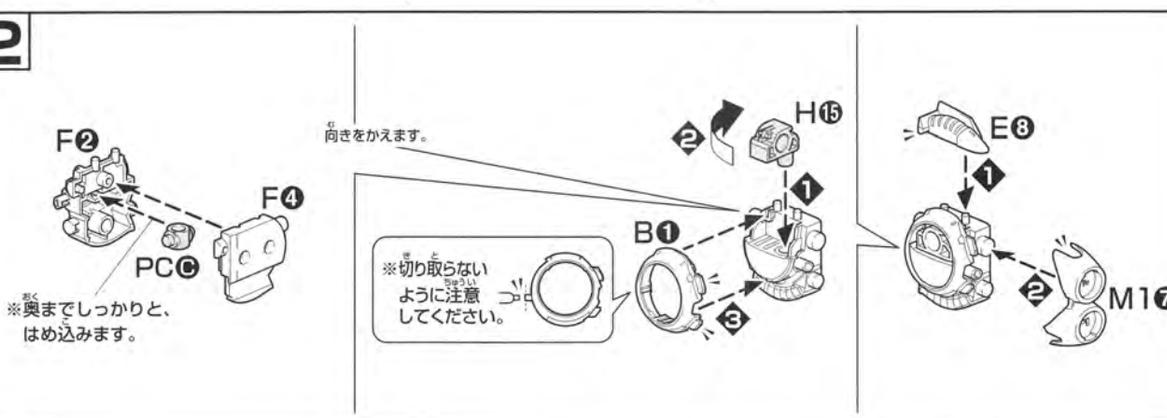
・反対側も同じように動かします

※部品はきれいに切り取り、向きや左右などイラストを良く見て組み立ててください。

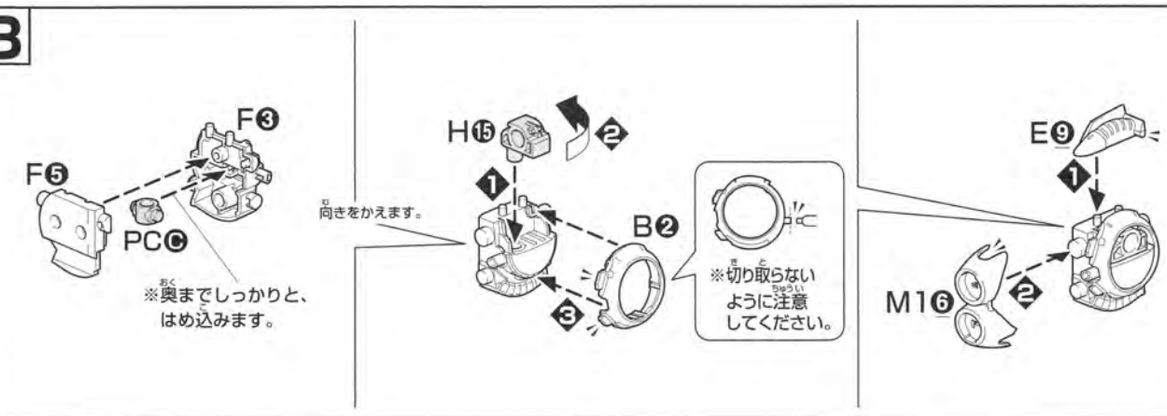
1



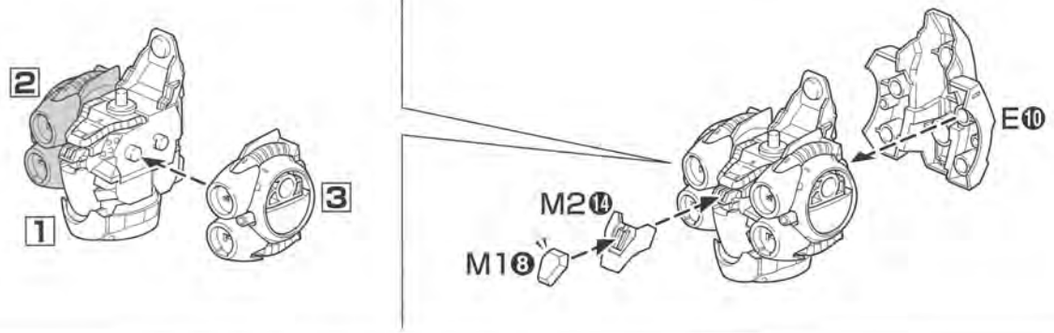
2



3

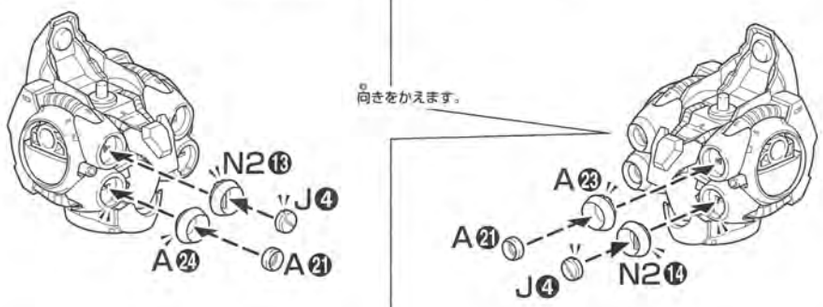


4

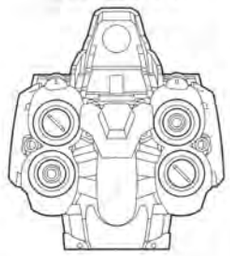


5

※各部品は、向きに注意して組み立てます。



〈組み付け位置〉

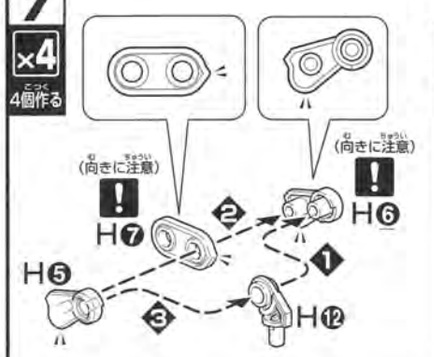


6

〈組み付け位置〉

7

×4 4個作る



〈組み付け位置〉

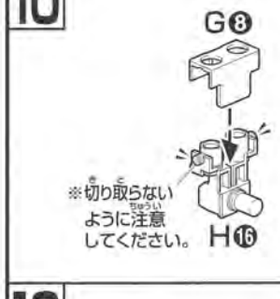
8

×4 4個作る

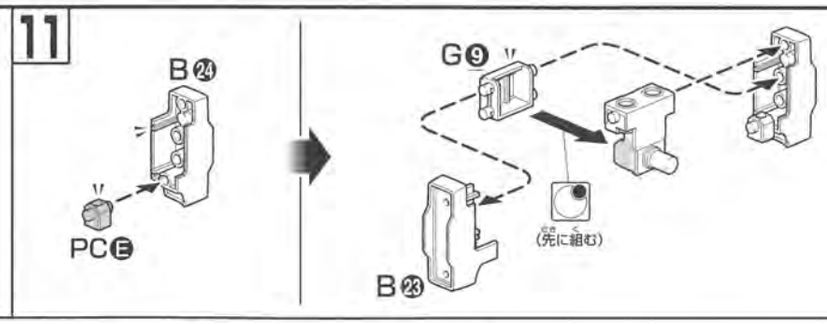
9

×4 4個作る

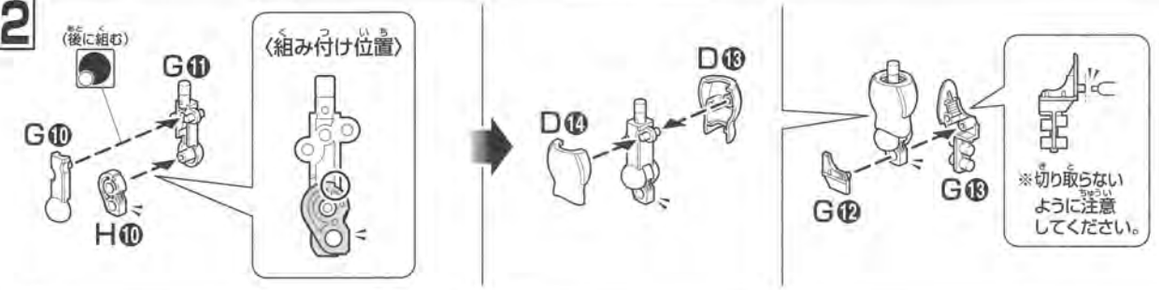
10



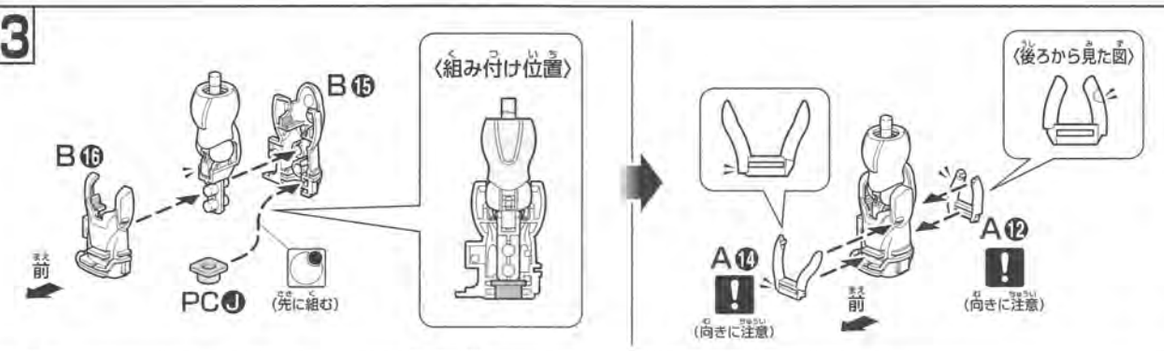
11



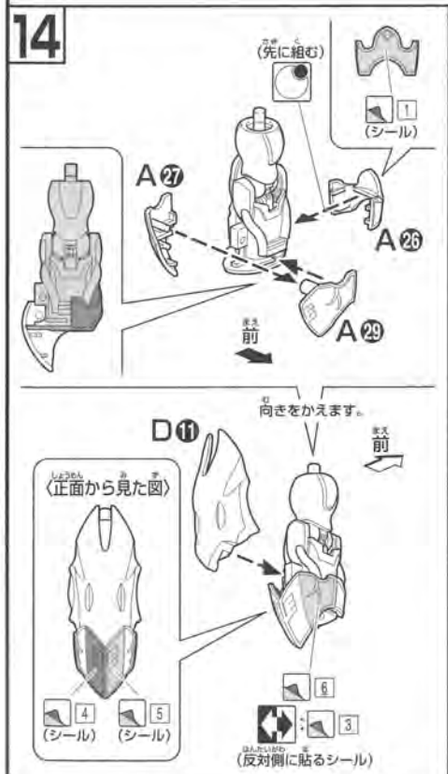
12



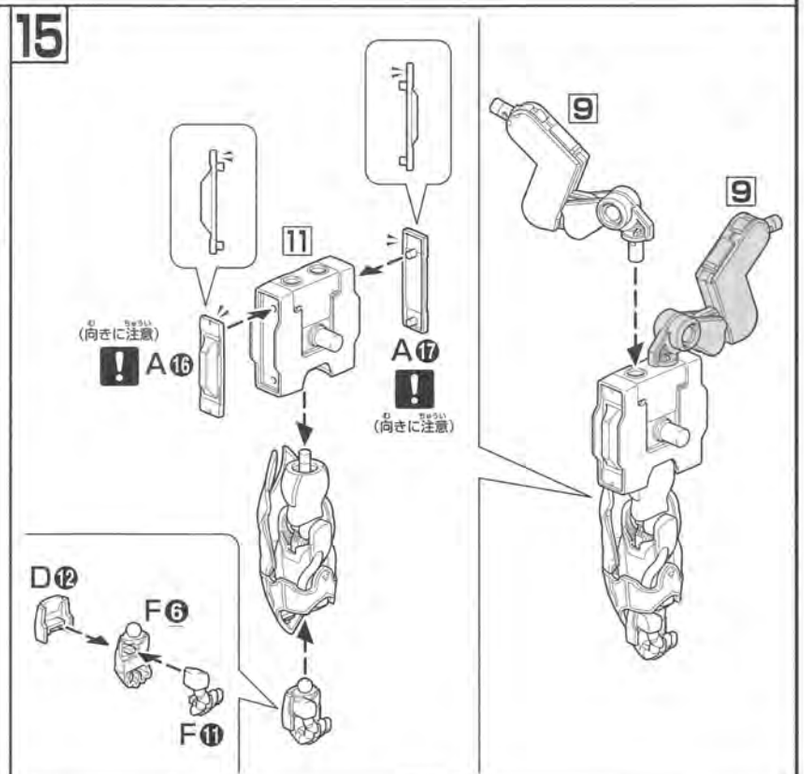
13



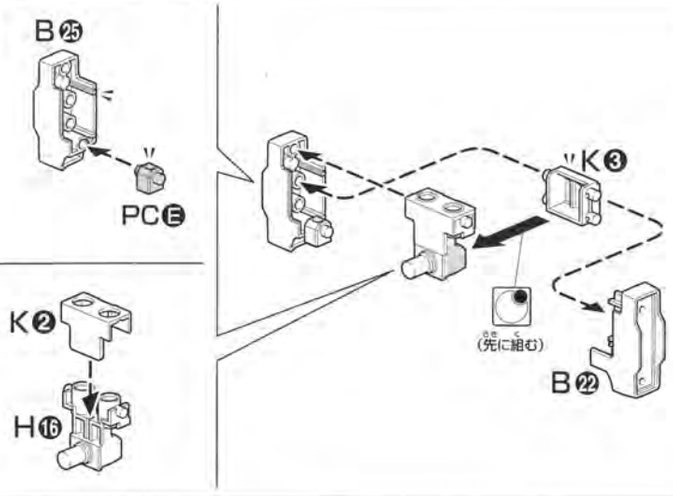
14



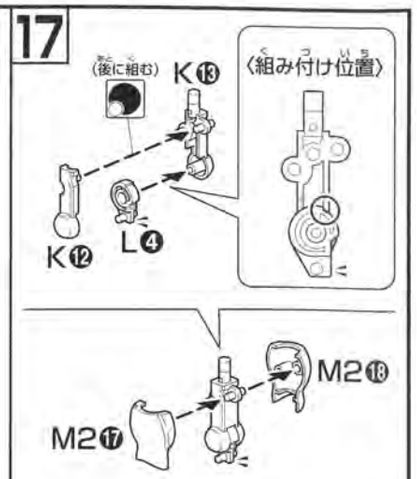
15



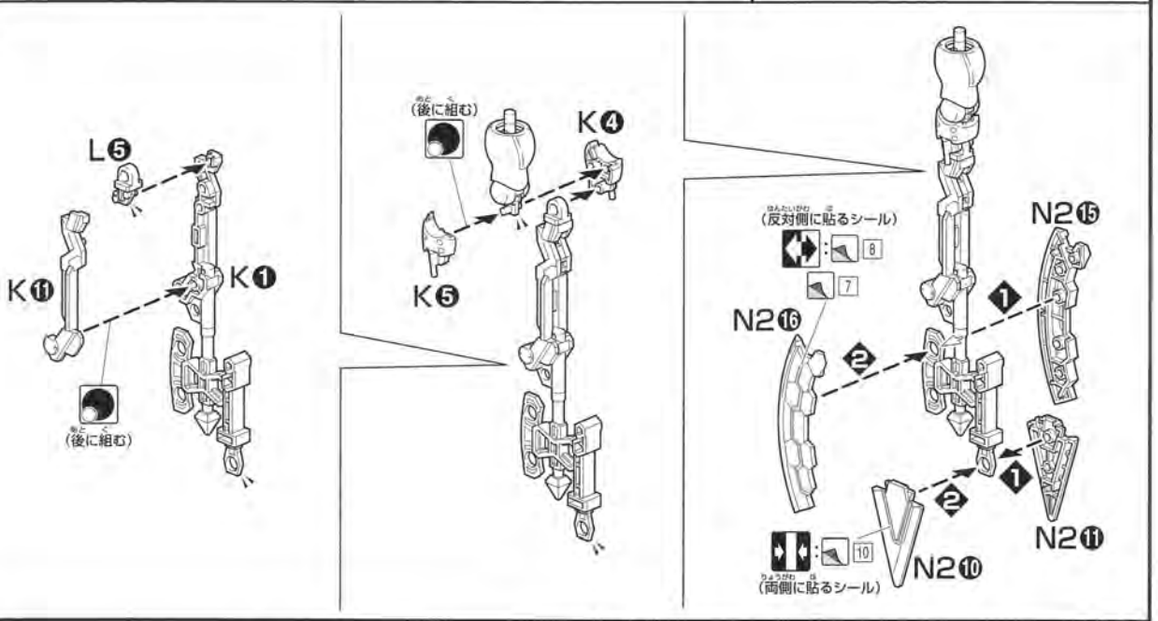
16



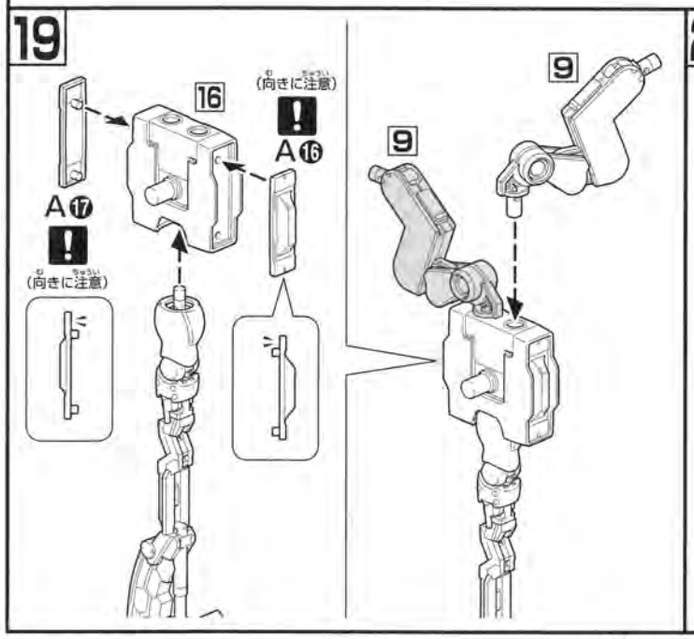
17



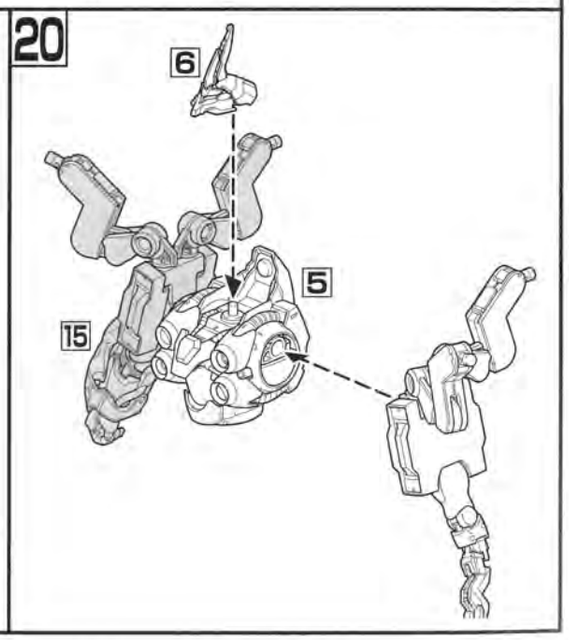
18



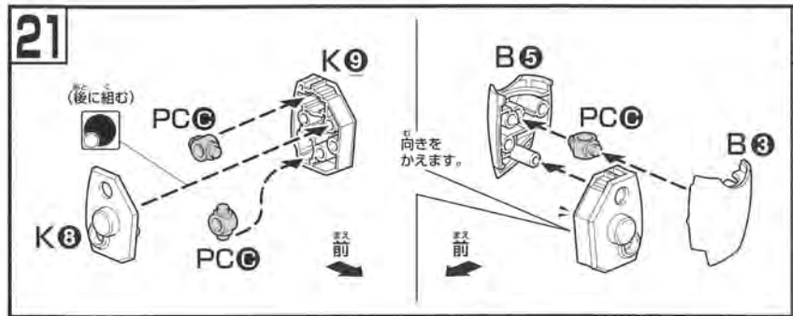
19



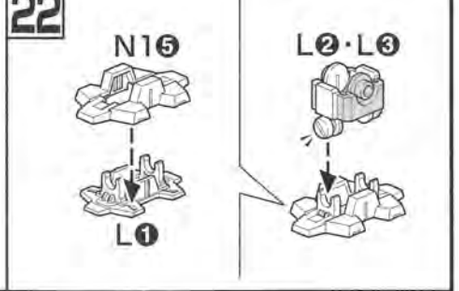
20



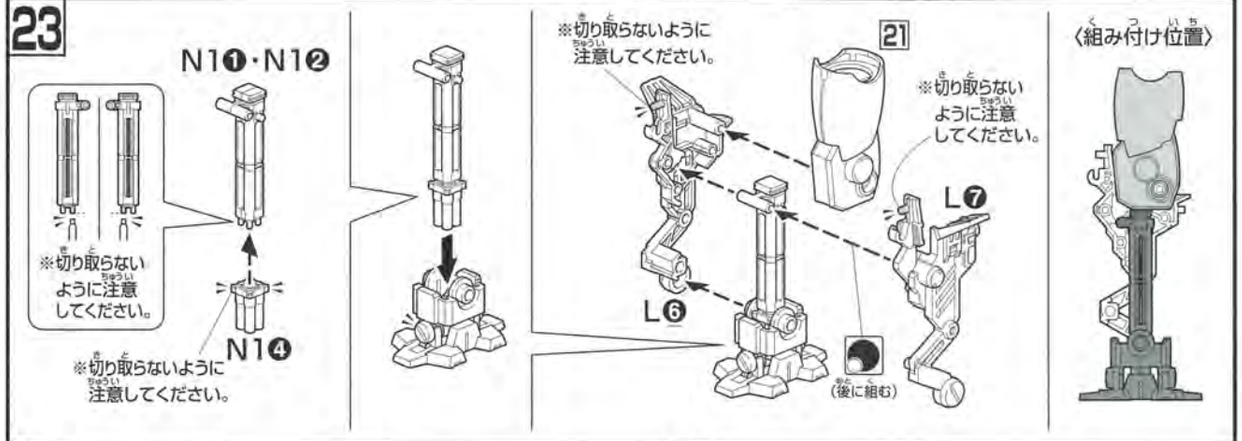
21



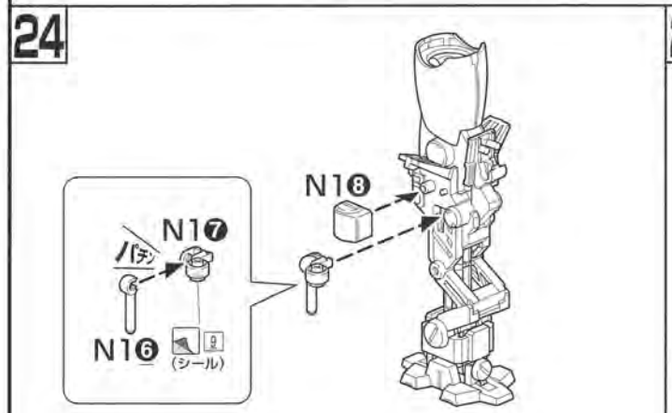
22



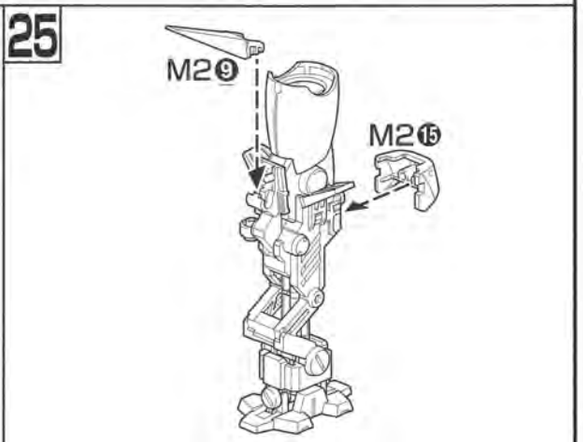
23



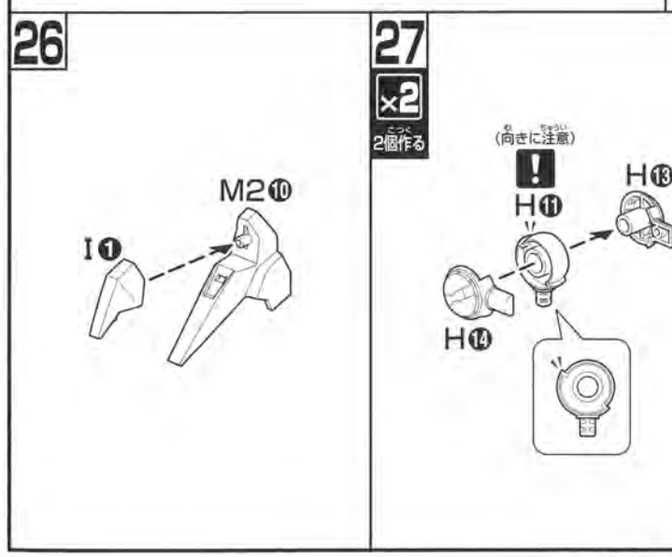
24



25

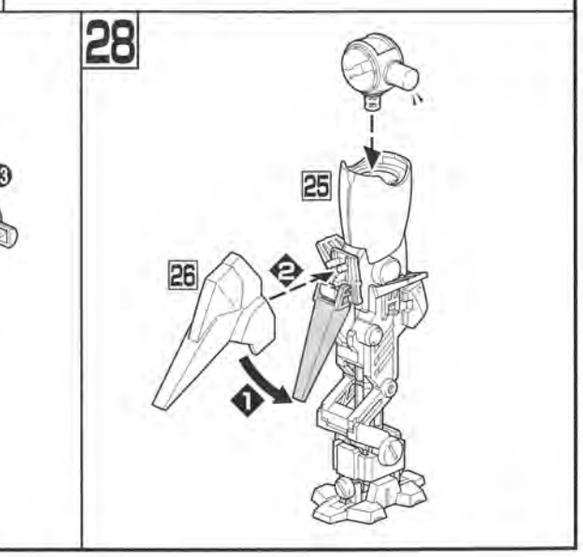


26



27 ×2 2個作る

28



NZ-666 KSHATRIYA REPAIRED

バラオ攻略戦においてRX-0《ユニコーンガンダム》との交戦により大破し、連邦軍の《ネェル・アーガマ》へ収容されていたNZ-666《クシャトリヤ》は、後に同艦へ乗り込んだ『袖付き』の主導による一方的な補修作業が行われることになる。最低限の稼動能力を確保することを重視した《クシャトリヤ・ペッセルング》と呼ばれる補修途上から、《ネェル・アーガマ》クルーの本格的なサポートを受け、実戦投入を前提としたさらなる現地改修が施された状態、それが《クシャトリヤ・リペアード》である。ただでさえ予備パーツの調達がままならぬワンオフ機の側面が強い《クシャトリヤ》にあって、ヘッド・ユニットやコックピットブロック周辺など完全に喪失した装甲部の復帰には、艦内に備蓄されていた連邦モビルスーツの予備パーツを加工して使用、兵装類に関しては自身をこの様な状態へ追い込んだ《ユニコーンガンダム》のオプション装備を転用するなど、使えるものは全て使う、所属を問わぬ修復作業が行われた結果、完成したシルエットはきわめて独特なものへと変化している。《クシャトリヤ》を構成する上で最も重要な要素であったバインダー4基の完全復旧は叶わなかったものの、欠損による総体的な軽量化に加え、代用した大型プロペラント・ブースターによってむしろ推力重量比は向上しており、優れた機動性能を図らずも獲得した。また、攻撃面においても、現場の意見から汲み上げられたファンネルの新たな活用法や、専用の補助装備であるビーム・ガトリングガンの内装、前述した《ユニコーンガンダム》用のハイパー・ビーム・ジャベリンによる白兵戦能力の充実など、修復以前より攻め手が豊富になったと言っても過言ではないのだ。

SPEC

型式番号：NZ-666
全高：22.3m　本体重量：29.7t　全備重量：74.02t
装甲材質：ガンダリウム合金
武装：ビーム・サーベル　ビーム・ガン　改造ファンネル　メガ粒子砲
　　マシン・キャノン　Iフィールド・ジェネレーター
　　ビーム・ガトリングガン　ハイパー・ビーム・ジャベリン

大型プロペラント・ブースター

シュツルム・ブースターとも呼ばれる推進剤タンクと推進システム両方の特性を併せ持ったギラ・ズールタイプ用の試作オプションユニット。喪失したバインダーを補う形で肩部に装着しており、見た目通りの圧倒的な推進力を発生させる。

改造ファンネル

ガランシェール隊の整備兵によるアイデアから生まれた現地改修兵装。小型シュツルム・ファウストの弾頭部分をファンネルに加工接合しており、パイロットの感応波で自在に遠隔操作を行い、ファンネルそのものを対象へ直撃させる。

バインダー

2門のメガ粒子砲を装備し、6基の改造ファンネルを収納するコンテナ、Iフィールド・ジェネレーター、スラスター、サブ・アーム、プロペラントタンクなどを内蔵する複合ユニット。本機を「四枚羽根」と渾名付けるシルエットを生み出していたが、欠損により本来の4基から2基へと減少している。

ビーム・サーベル

かつてのネオ・ジオン機体であるAMX-004 キュベレイやMSN-04 サザビーと同様、前腕部の手首にサーベルラックが内蔵されており、収納時はそのまま射撃を行えるビーム・ガンの砲身としても機能する。

胸部

補修途上（クシャトリヤ・ペッセルング）時には剥き出しだったコックピットブロック周辺は、連邦系機体の予備パーツを加工した装甲材が新たに張り込まれた。内蔵兵装である肩前部の実体弾砲マシン・キャノン、バインダー同様に2門へと減少した胸部メガ粒子砲は、単体でも十分な威力を示す。

ビーム・ガトリングガン

主武装を補助するために用意されていた専用の携行火器で、MSN-03 ヤクト・ドーガに設定されていたメガ・ガトリングガンの機構を継承しつつ、安定性を主眼においたアップデートが行われている。右足の仮設フレーム内部に固定装着させた。

ハイパー・ビーム・ジャベリン

ネェル・アーガマに保管されていたユニコーンガンダムのオプション兵装で、専用増加サイコフレーム兵装（アームド・アーマーシリーズ）のプロトタイプ。左前腕基部に直接接合され、刺突と斬撃にそれぞれ特化させた高出力ビーム刃を形成する。

※画像はバンダイプラモデルアクションベース1（別売り）を使用しています。（アクションベース2には、対応していません。）
※データは劇中の設定です。

※画像はイメージです。

NZ-666 クシャトリヤ・リペアード

U.C.0096。地球連邦軍とネオ・ジオン残党軍『袖付き』による、『ラプラスの箱』を巡る戦いは激化の一途をたどる。――まるで自分と闘っているようだと、マリーダ・クルスは思った。目の前の黒いモビルスーツが、かつての乗機だったからだけではない。内から発する負の力を追い払うように暴れる戦い方も含め、かつての自分をそのまま映し見ているような感覚にとらわれていた。自身が望まぬ調整を受けた故にあのような戦い様を晒していたのだと思っていたが、あれに搭乗しているリディという男は“普通”の人間のはずだ。ということは、黒い《ユニコーン》自体に、人をそうさせてしまう力が備えられているというのか。ただ、今座っている《クシャトリヤ》のコックピットシートの方が、彼女にとって落ち着ける場所であるのは間違いなく、よくよくここに帰って来られたものだと、マリーダは改めて思った。色々な人達のお陰で、彼女は以前よりも澄み切っている。なにより目の前の黒い《ガンダム》に対し、少なからず憐憫の情を抱けているのは、《ガンダム》を問答無用で倒すべき敵だ、と刷り込まれていた頃には考えられなかったことだ。マリーダは、白い《ユニコーン》から譲り受けた左腕のハイパー・ビーム・ジャベリンに意識を集中させ、相対するリディの《バンシィ・ノルン》へ斬りかかる。止めなければならない相手ではあるが、リディは倒すべき本当の敵ではない。――それでも、と言い続ければ、彼もきっとわかってくれるだろうさ、バナージのように。

マリーダ・クルス

『袖付き』に所属していた彼女は、強化人間であるという理由からマーサの手により再調整を受け、望まぬ形で《ユニコーンガンダム》を狙った。バナージとジンネマン達によって救出された彼女は、再びクシャトリヤに搭乗し、自身の意志で最終決戦に臨む。

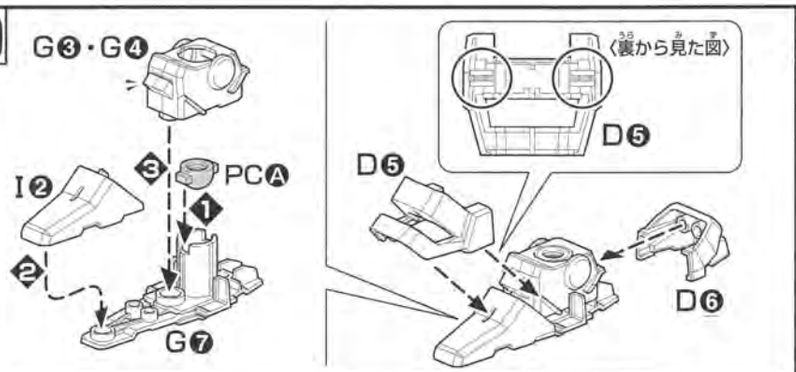
HGUC シリーズラインナップ

最終決戦で繰り広げられるMS達のバトルをHGUCで再現!!

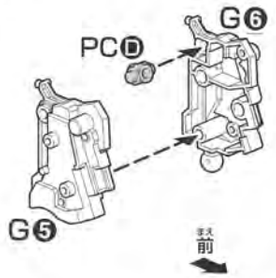
※この商品には、『HGUC クシャトリヤ・リペアード』が1セット入っています。

HGUC No.178 フルアーマー・ユニコーンガンダム（デストロイモード）
HGUC No.116 シナンジュ
HGUC No.175 ユニコーンガンダム2号機 バンシィ・ノルン（デストロイモード）
HGUC No.156 フルアーマー・ユニコーンガンダム（ユニコーンモード）
HGUC No.152 ジェスタ・キャノン
HGUC No.130 ジェスタ
HGUC No.149 ローゼン・ズール
HGUC No.153 ユニコーンガンダム2号機 バンシィ・ノルン（ユニコーンモード）

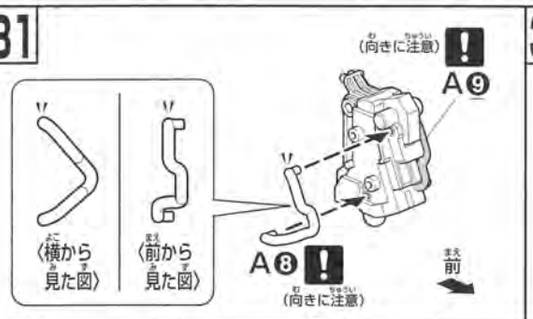
29



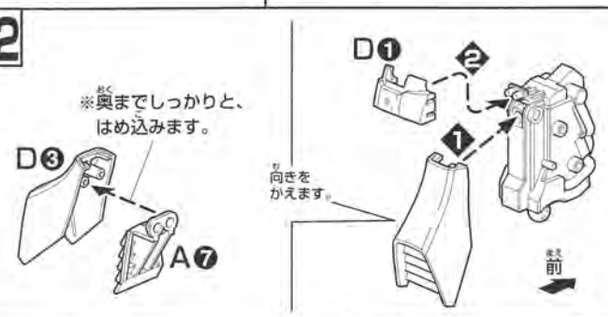
30



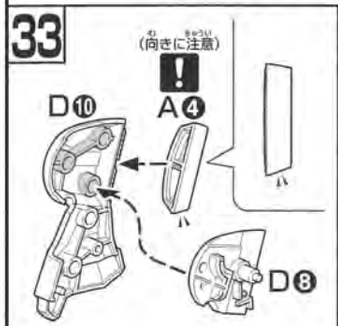
31



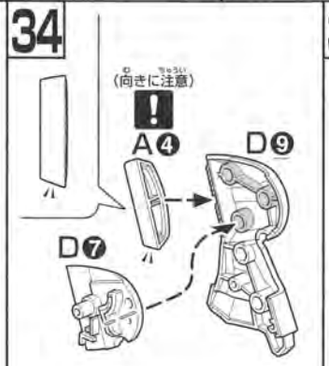
32



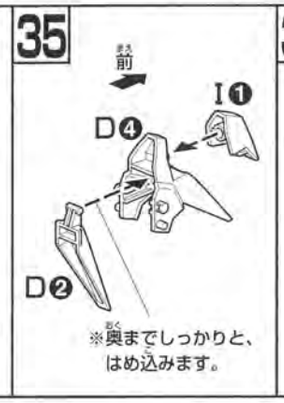
33



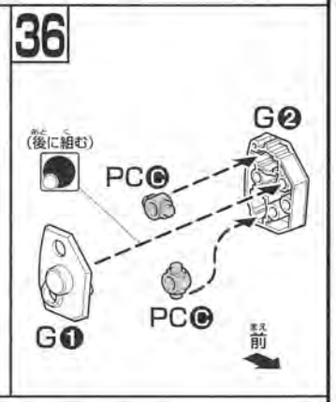
34



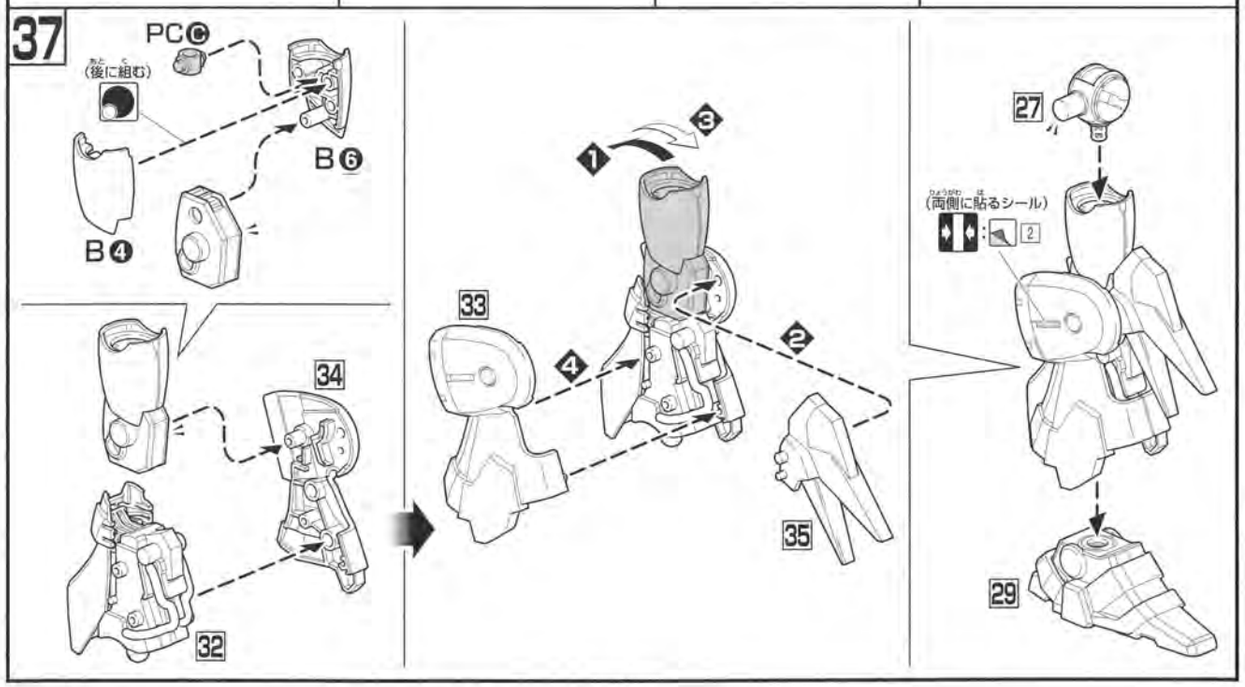
35



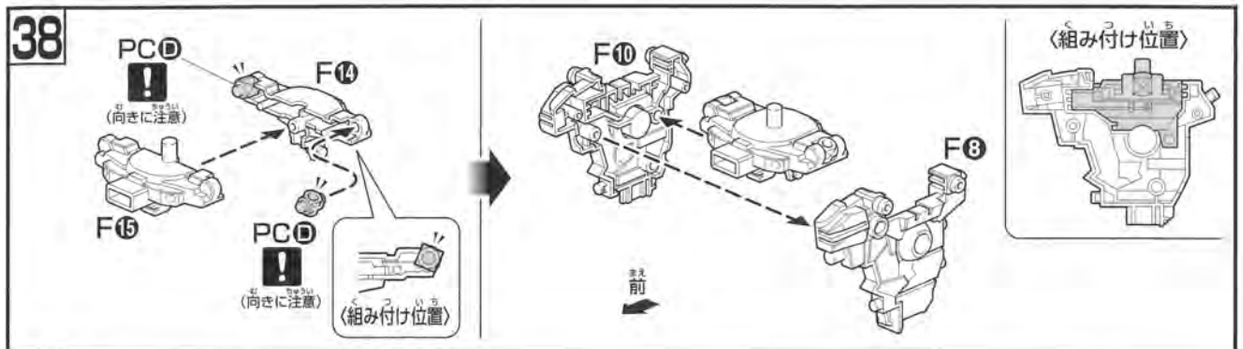
36



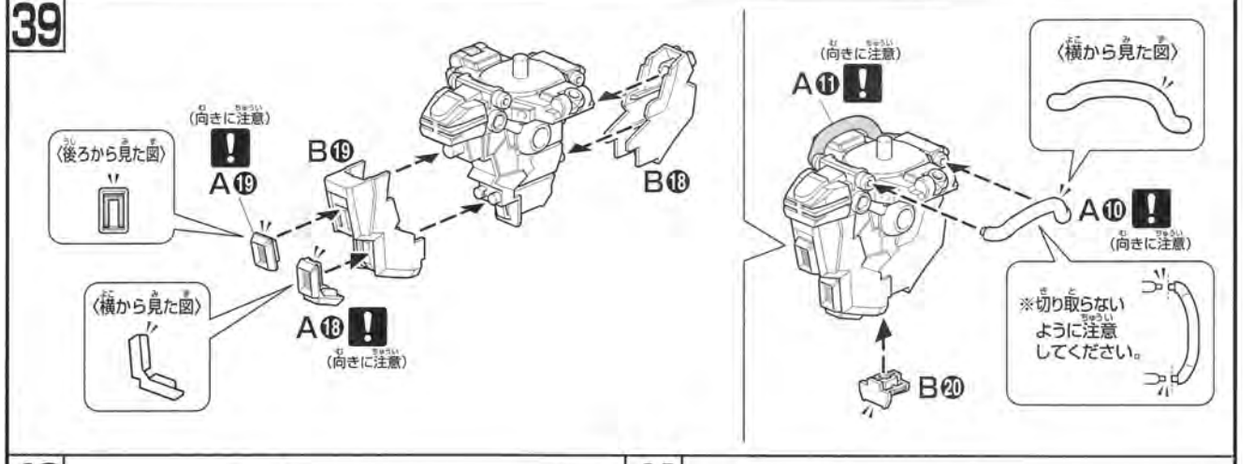
37



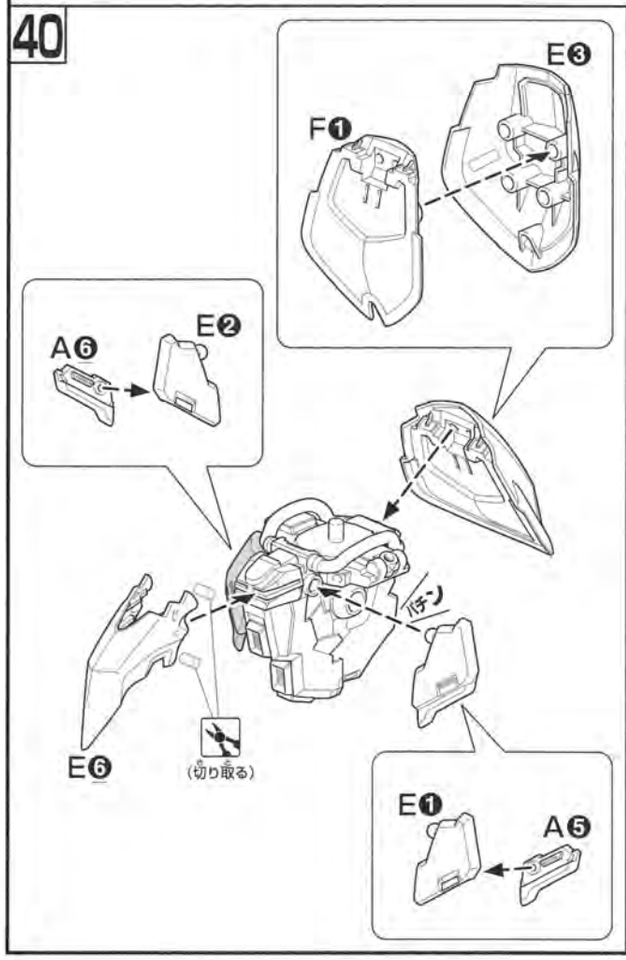
38



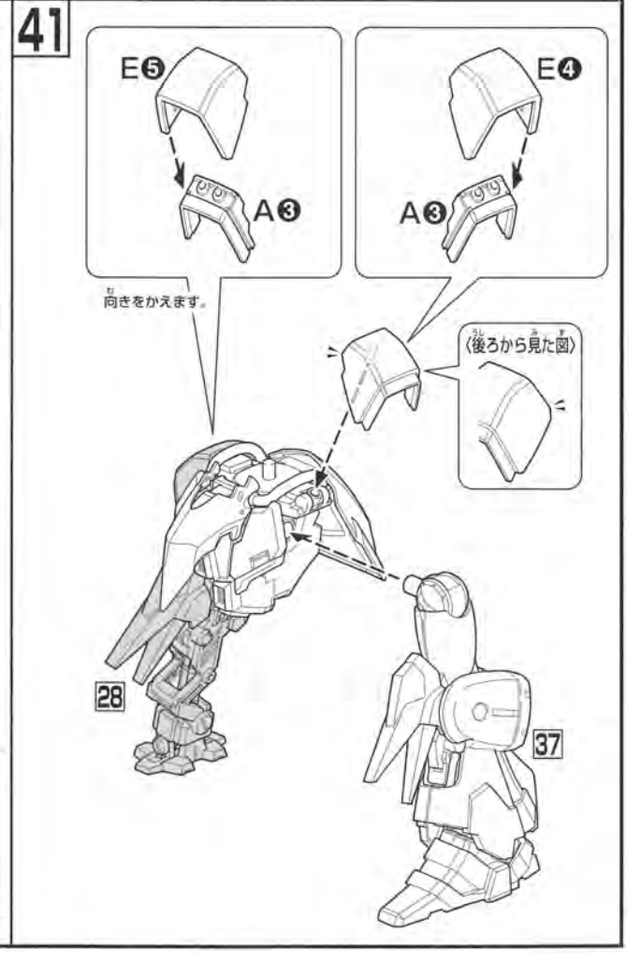
39



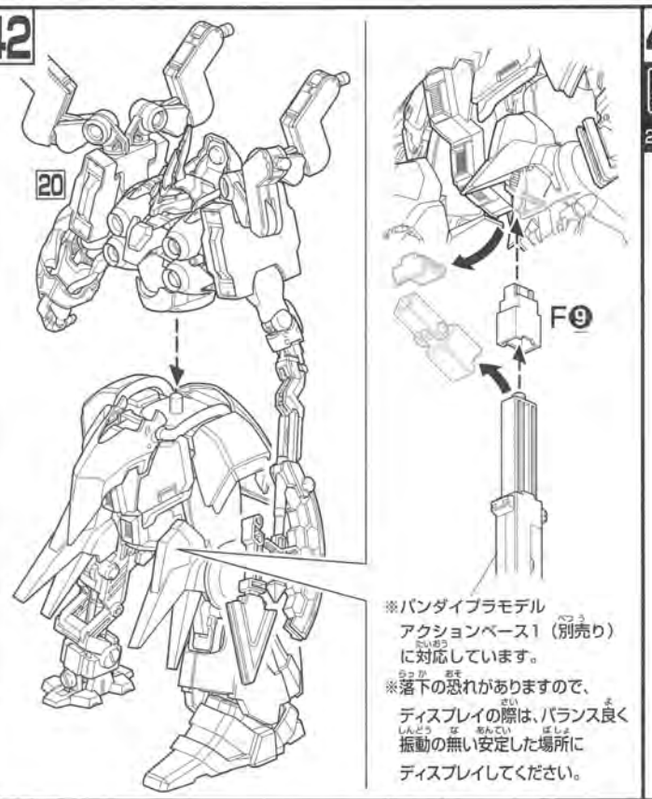
40



41

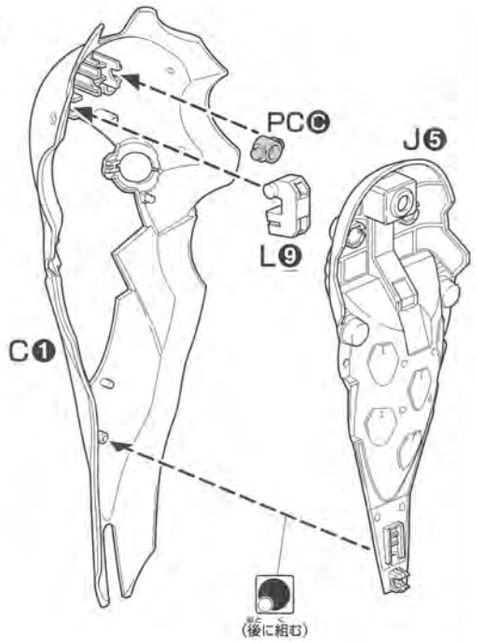


42

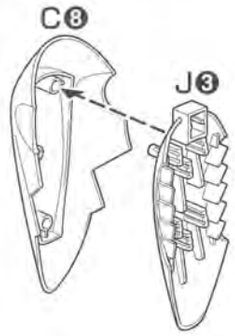


※バンダイプラモデル
アクションベース1（別売り）
に対応しています。
※落下の恐れがありますので、
ディスプレイの際は、バランス良く
振動の無い安定した場所に
ディスプレイしてください。

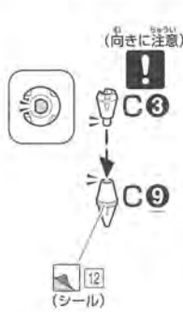
43 ×2 2個作る



44 ×2 2個作る

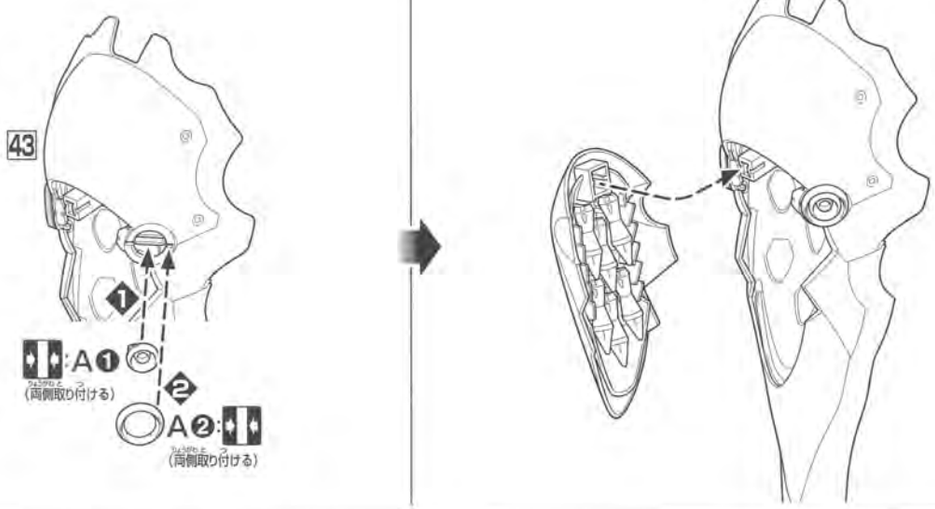


45 ×12 12個作る

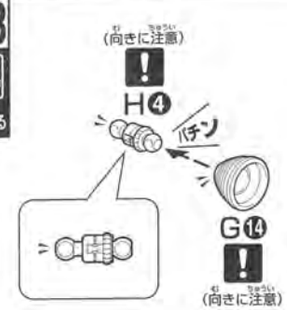


46 ×2 2個作る

47 ×2 2個作る

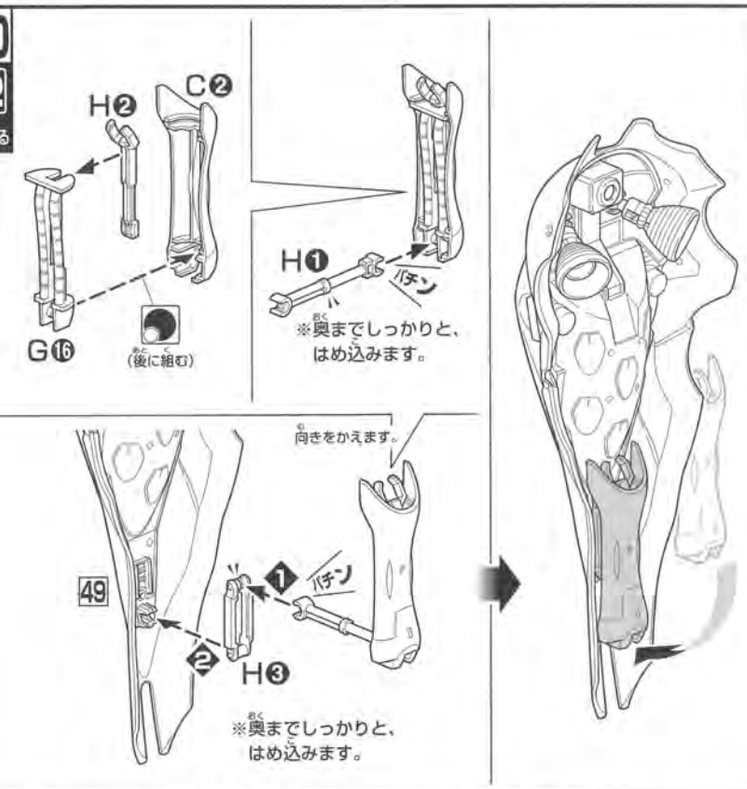


48 ×4 4個作る

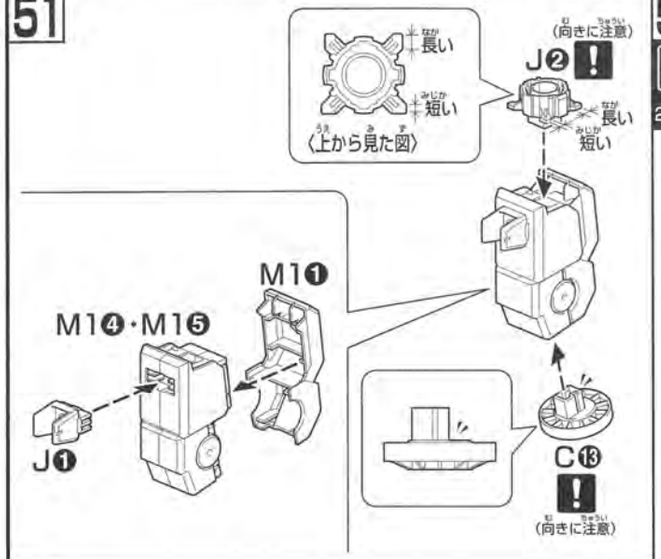


49 ×2 2個作る

50 ×2 2個作る

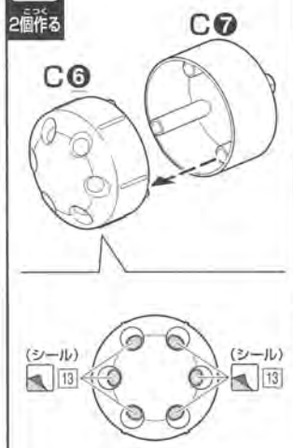


51

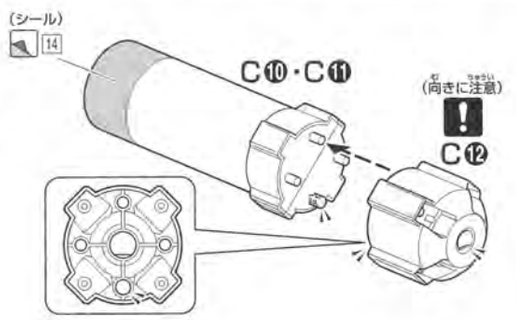


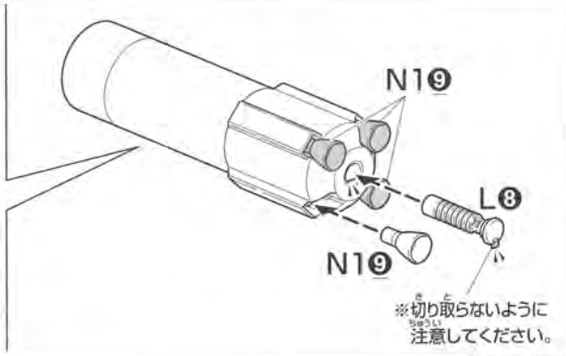
52 ×2 2個作る

53 ×2 2個作る

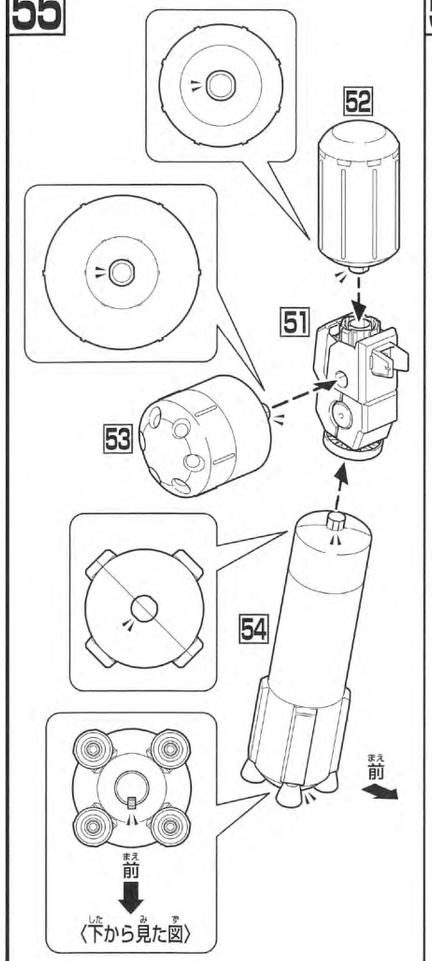


54 ×2 2個作る

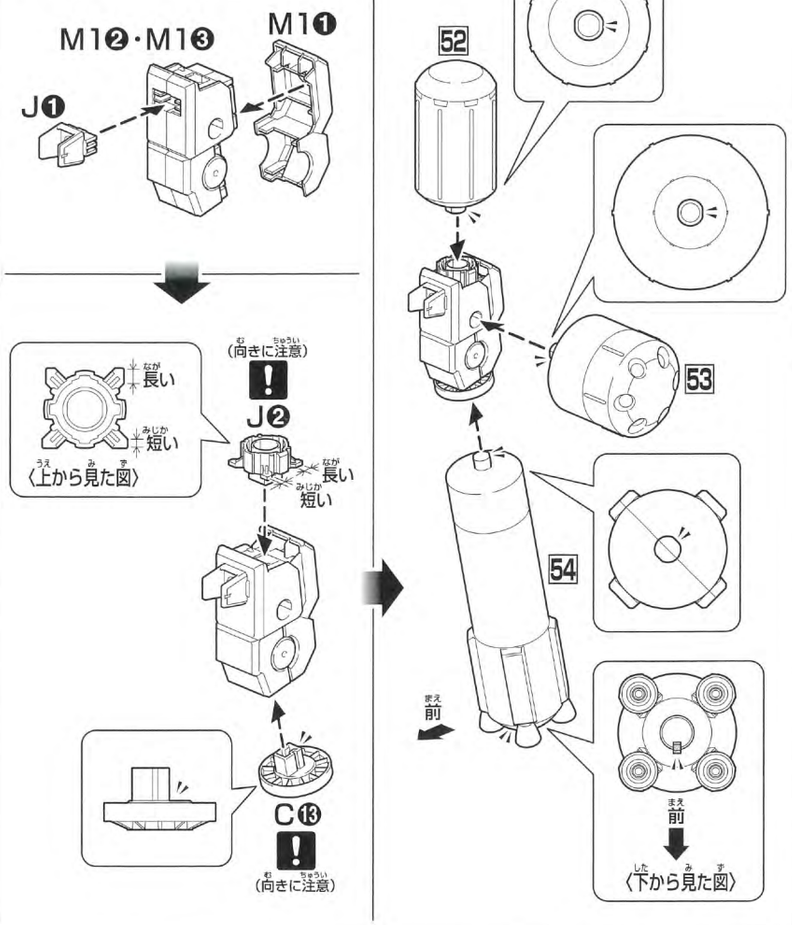




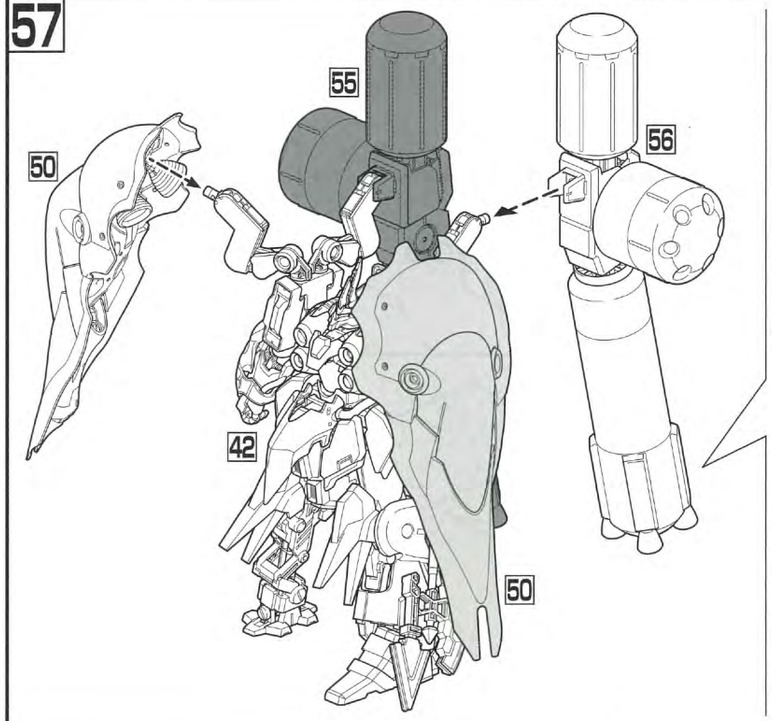
55



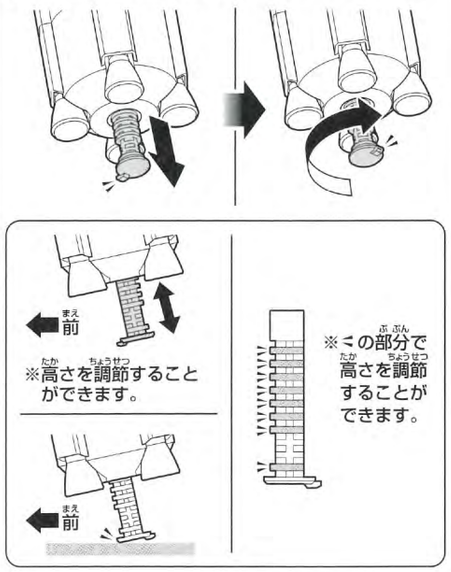
56



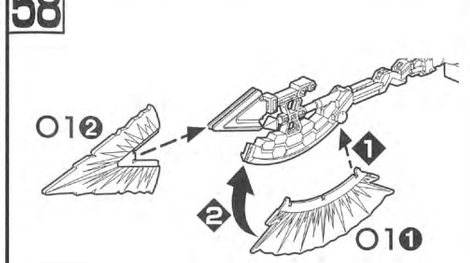
57



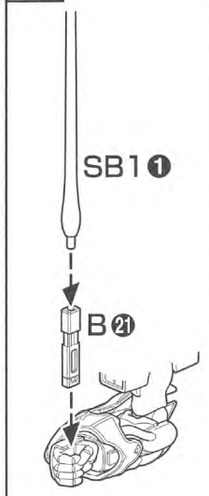
〈スタンドの使い方〉 ※支える時に使用します。



58

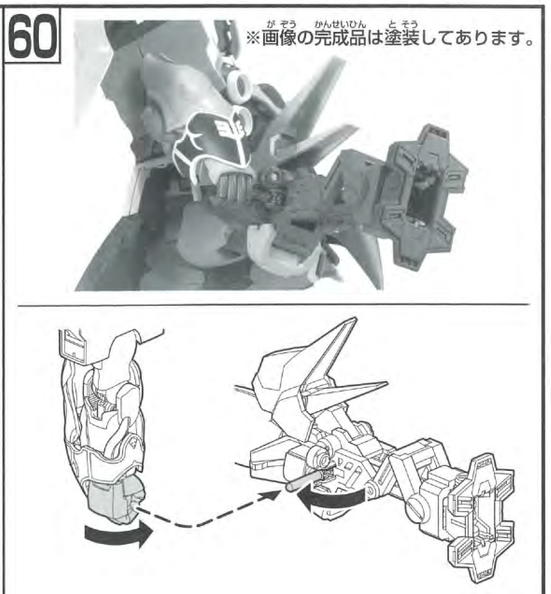


59



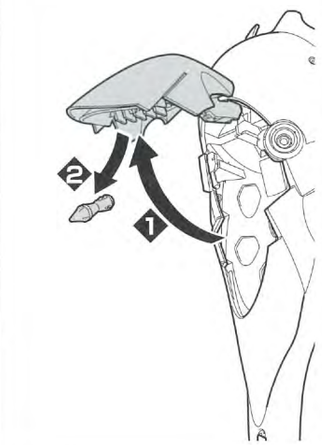
60

※画像の完成品は塗装してあります。



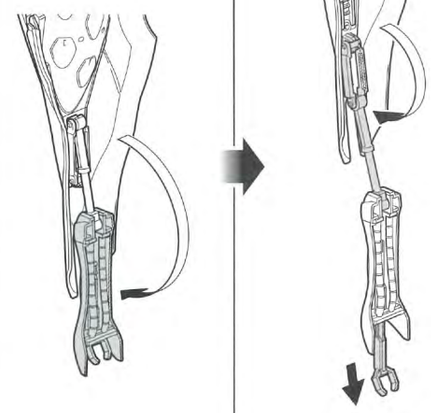
61

(反対側も同じように動かす)



62

(反対側も同じように動かす)



63

(反対側も同じように動かす)